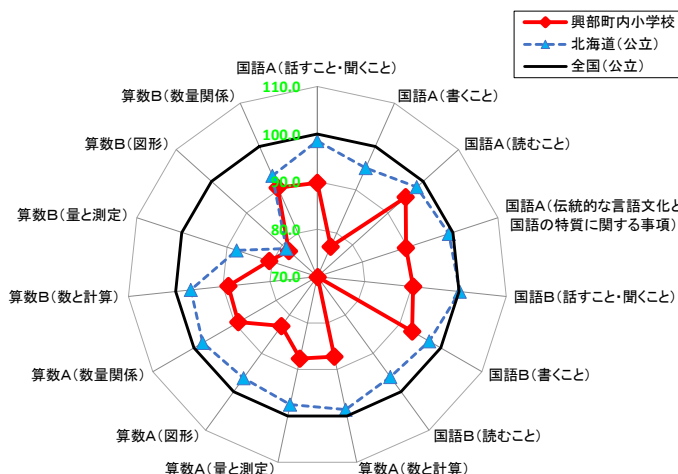


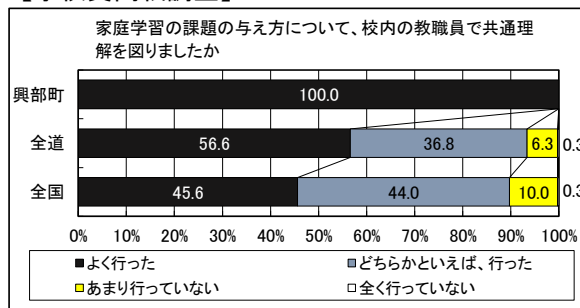
■興部町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:29人)

【教科全体の状況】

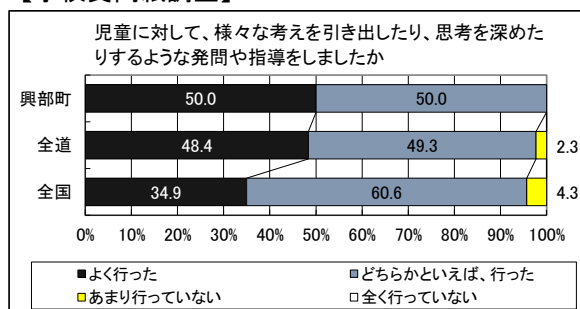
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



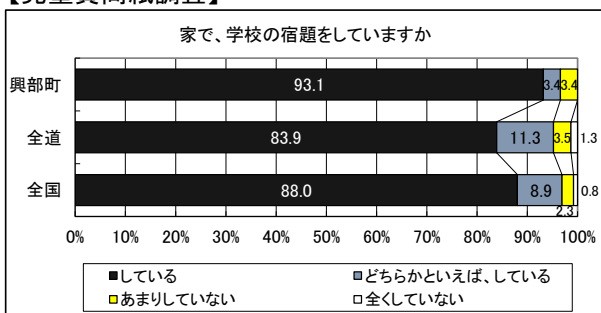
【学校質問紙調査】



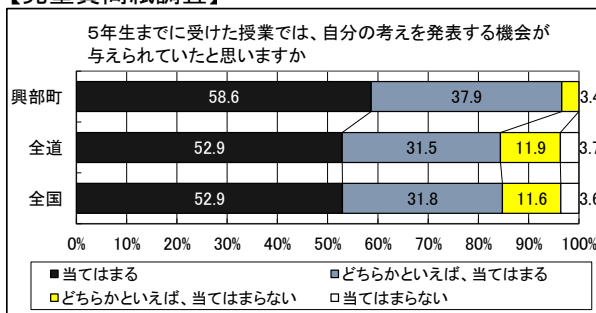
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「読むこと」、Bでは「書くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Bでは、「数量関係」で全道に最も近くなっている。	○ 家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図ったことにより、家で、学校の宿題に取り組むなど、児童の家庭学習の習慣化が図られたと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、学校の宿題をしている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行ったことにより、児童が、自分の考えを発表する機会の充実が図られ、国語Bの「書くこと」で、全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ すべての学校が、「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」と回答している。 ○ 「児童に対して、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【興部町の学力向上策】

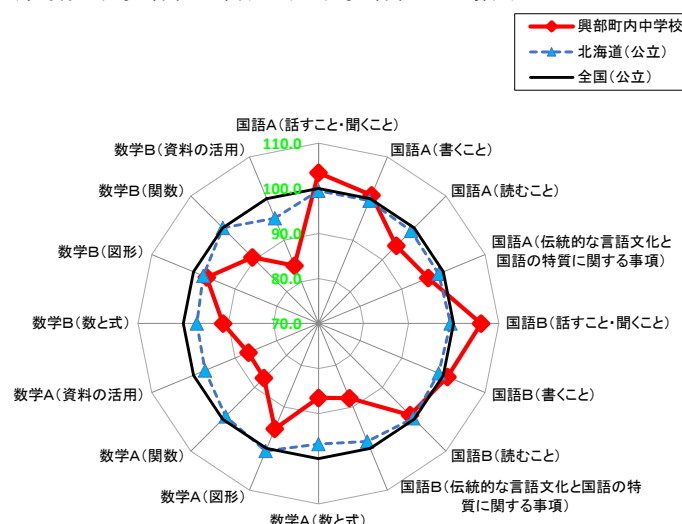
- ◎ 町の臨時教員の雇用による複式学級の解消と学力の維持向上
- ◎ 学生ボランティアを活用した補充的な学習サポートの実施
- ◎ 「家庭学習の手引き」を活用した家庭での学習習慣の確立
- ◎ 知能検査や標準学力検査の実施による学習状況の把握と個に応じた指導の充実

■興部町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:33人)

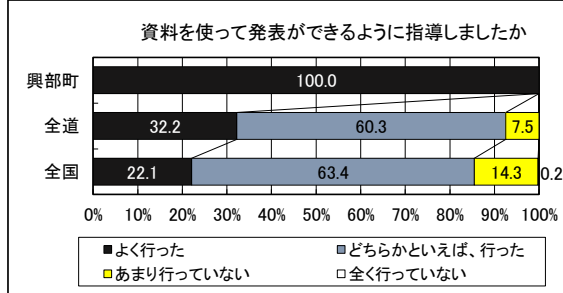
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

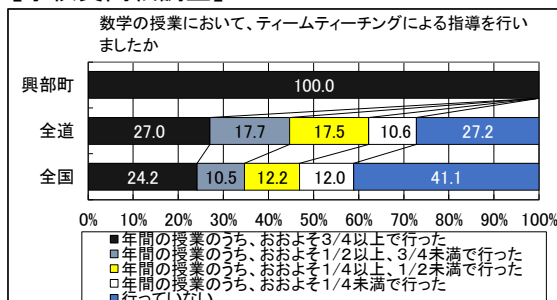
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



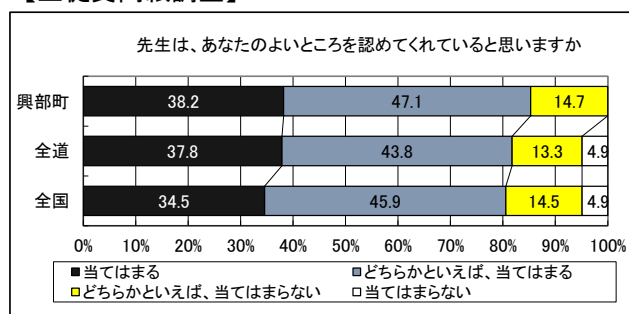
【学校質問紙調査】



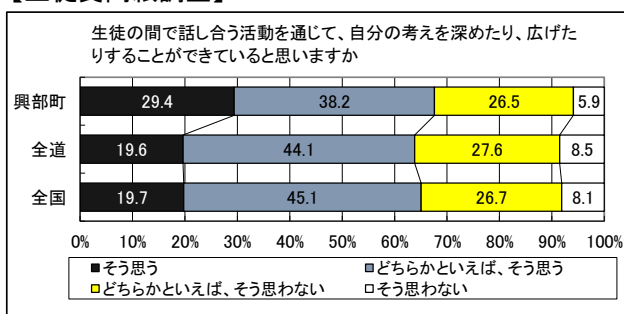
【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A・Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、「図形」で全国に最も近くなっている。	○ 資料を使って発表ができるように指導したことにより、生徒は、自分の考えを深めたり、広げたりできるようになり、表現力の育成が図られたと考えられる。
生徒質問紙	○ 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 数学の授業において、チームティーチングによる指導を年間の授業のうち、3/4以上で行うなど、生徒一人一人の学習状況を踏まえた指導の充実を図ったことにより、生徒の自己有用感が醸成されたと考えられる。
学校質問紙	○ すべての学校が、「資料を使って発表ができるように指導した」と回答している。 ○ すべての学校が、「数学の授業において、チームティーチングによる指導を、年間の授業のうち、おおよそ3/4以上で行った」と回答している。	

【興部町の学力向上策】

- ◎ 学生ボランティアを活用した補足的な学習サポートの実施
- ◎ 「家庭学習の手引き」を活用した家庭での学習習慣の確立
- ◎ 知能検査や標準学力検査の実施による学習状況の把握と個に応じた指導の充実